

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書（市町総括表）

## 【単独事業】

市町名	芳賀町
-----	-----

(単位:円)

No.	単独事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	三世代による地域の 安全安心向上事業	総事業費	375,500	389,550	180,000	100,000	100,000	1,145,050
		うち市町支出額	370,000	340,000	150,000	50,000	50,000	960,000
		うち県交付金	185,000	170,000	75,000	0	0	430,000
2	東高橋世代間交流親 睦会	総事業費		307,340	300,000	300,000	300,000	1,207,340
		うち市町支出額		300,000	150,000	150,000	150,000	750,000
		うち県交付金		150,000	0	0	0	150,000
3	世代間交流そば打ち サロン事業	総事業費		394,079	280,000	230,000	230,000	1,134,079
		うち市町支出額		340,000	200,000	150,000	150,000	840,000
		うち県交付金		170,000	100,000	75,000	0	345,000
4		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	375,500	1,090,969	760,000	630,000	630,000	3,486,469
		うち市町支出額	370,000	980,000	500,000	350,000	350,000	2,550,000
		うち県交付金	185,000	490,000	175,000	75,000	0	925,000

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業調書）

【単独事業】

市町名

芳賀町

事業名

三世代による地域の安全安心向上事業

事業主体の名称

下延生自治会

代表者の名称

自治会長 手塚 真

事業主体の所在

栃木県芳賀郡芳賀町大字下延生1691-1

事業主体の概要

- ・団体の目的：地域住民相互の親睦融和をもって住民の交流と町開発に寄与すること。
- ・設立年月日：昭和35年4月1日
- ・構成員等：130世帯

当該事業に係る地域の現状と課題

少子高齢化や生活様式の変化を背景として、若い世代の転出増等による人口の減少、町民相互の交流機会の減少、自治会加入者数の減少が進んでおり（年少人口比率 H28 13.0%→R3 12.5%、老年人口比率 H28 29.5%→R3 32.1%、自治会加入率 H28～R3で9.3%減）、地域コミュニティ活動の停滞が危惧されています。

また、地区内において交通死亡事故や空き巣等の犯罪が発生しており、子どもや高齢者が安心して暮らせるよう、交通危険箇所への対応や子どもの見守り活動の強化、防犯意識の高揚等を図る必要があります。

加えて、令和元年台風19号の際には、一部の世帯において避難所への避難を要するなど、近年は自然災害への備えが必要な地区となってきています。

こうした現状を踏まえ、地区が抱える課題の解決に住民主体で取り組み、地域活性化を図る必要があります。

事業目的

- ・世代間交流により地域活性化を図る。
- ・郷土愛を醸成する。
- ・安全安心な地域をつくる。

事業概要

三世代で構成された「しものぶ地域探検隊」を組織し、令和4年12月17日に以下の活動を実施した。

①ハザードマップを活用し、地域内の想定浸水深等を確認した。また、災害時に、高齢者・子どもが安全に避難できる経路の確認及び避難所に必要な資機材・物資等について協議した。

各世代の視点で協議することで、新たな課題を抽出し、令和4年度以降に課題解決に向けた活動・整備等を行った。

②地域内を「探検」し、交通危険箇所や犯罪発生箇所等を確認した。下延生駐在所にご協力をいただき、交通事故や犯罪に遭わないためのポイントについて講話をいただいた。

各世代の視点で協議することで、新たな課題を抽出し、令和4年度以降に課題解決に向けた活動・整備等を行った。

③「探検」後は、コロナ禍でもできる世代間交流イベントを地域伝統行事や地域内の名刹「延生地蔵尊」で行った。地域課題の解決に三世代が協力して取組むことで、三世代がつながり、地域活性化及び郷土愛醸成を図った。

事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI

新たな時代に合った地域をつくり、安全安心なくらしを守る

地域や町民の自主的な活動が盛んである（NSI値） R元 55.7→R5 58.0

安全な道路が身近にある（NSI値） R元 51.8→R5 55.0

刑法犯認知件数 H30 47件→R5 45件

防災訓練を実施した自主防災組織数 R元 14組織→R5 14組織

芳賀町への新しいひとの流れをつくる

15～45歳の純移動者数（累計） H30 40人→R5 160人

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

（単位：円）

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①しものぶ地域探検隊を組織 ②「探検」を通じ、防災に係る課題抽出及び課題解決策の検討 ③「探検」を通じ、交通安全・犯罪防止に係る課題抽出及び課題解決策の検討 ④世代間交流イベント	①「探検」を通じた課題抽出及び課題解決策の検討 ②課題解決に向けた活動・整備等の実施 ③世代間交流イベント ④地域内外への周知	①「探検」を通じた課題抽出及び課題解決策の検討 ②課題解決に向けた活動・整備等の実施 ③世代間交流イベント ④地域内外への周知		①「探検」を通じた課題抽出及び課題解決策の検討 ②課題解決に向けた活動・整備等の実施 ③世代間交流イベント ④地域内外への周知
事業費	375,500	389,550	180,000	945,050	100,000
市町支出金（ソフト事業分）	370,000	340,000	150,000	860,000	50,000
うち県交付金	185,000	170,000	75,000	430,000	
市町支出金（ハード事業分）				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	5,500	49,550	30,000	85,050	50,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課みらい創生係
担当者名	高松、小林
電話	028-677-6012
FAX	028-677-3123
E-mail	<a href="mailto:miraioussei@town.tochigi-haga.lg.jp">miraioussei@town.tochigi-haga.lg.jp</a>

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	芳賀町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	下延生自治会・三世代による地域の安全安心向上事業	
対象年度	令和4	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	340,000	
自治会費	49,550	
計	389,550	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
				0	
備品購入費	389,550	340,000	170,000	49,550	防災テント@112,000×1 情報収集ラジオ@4,270× 65
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	389,550	340,000	170,000	49,550	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画実績書（単位事業調書）

【単独事業】

市町名	芳賀町
事業名	東高橋世代間交流親睦会
事業主体の名称	東高橋自治会
代表者の名称	自治会長 水沼 一彦
事業主体の所在	栃木県芳賀郡芳賀町大字東高橋3162
事業主体の概要	<p>・団体の目的：経済、教育、文化の向上と、明朗な郷土の建設を図るとともに、相互の親睦融和をもって町の発展に寄与すること。</p> <p>・設立年月日：昭和55年4月19日</p> <p>・構成員等：254世帯</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>少子高齢化や生活様式の変化を背景として、若い世代の転出増等による人口の減少、町民相互の交流機会の減少、自治会加入者の減少が進んでおり（年少人口比率 H28 13%→R3 12.5%、老年人口比率 H28 29.5%→R3 32.1%、自治会加入率 H28→R3で9.3%減）、地域コミュニティ活動の停滞が危惧されます。</p> <p>地区内では、農業者の高齢化が進んでおり、管理が不適な水田が点在しています。そうした水田がタヌキやハクビシン等の野生動物の住み家となり農作物被害も発生しています。また、雑草等の繁茂は火災等の防災上の課題となっているほか、景観悪化の原因にもなっています。</p> <p>核家族の増加やコロナ禍の影響により、子どもと高齢者との交流機会が減少しており、世代間交流の場を創出する必要があります。</p> <p>地区外への転出者も増えていることから、人口減少を抑制するため、若い世代のUターンを促す取組みが必要です。</p>
事業目的	<p>・世代間交流により地域コミュニティの活性化を図る。</p> <p>・郷土愛を醸成する。</p> <p>・関係人口の創出につなげる。</p>
事業概要	<p>①管理不適な水田の有効活用 適切な管理がされていない水田について、6月に種をまき、コキアを植栽し地域内外の方に訪れてもらえるような観光スポットとして整備し有効活用した。</p> <p>②関係人口の創出（d.参加・交流型） 新型コロナウイルスの関係で収穫祭は見送ったが、植栽したコキアの鑑賞会を見ごろである10月に実施した。鑑賞会については、写真撮影会やSNSを利用した地域PRなど、若い世代の将来的なU/Jターンを促すためにも、地区外への転出者も参加しやすい、地元をより身近に感じてもらえるような内容にした。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>地域や町民の自主的な活動が盛んである。（NSI値） R元 55.7 → R5 58.0</p> <p>芳賀町へ新しいひとの流れをつくる 15～45歳の純移動者数（累計）H30 40人 → R5 160人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

（単位：円）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の事業費計	支援期間の翌年度
事業内容	①農作物の栽培及び収穫祭を行い、世代間の交流を図る。 ②休耕田に観賞植物を植栽し、鑑賞会を行う。 ③地域内外への周知	①農作物の栽培及び収穫祭を行い、世代間の交流を図る。 ②休耕田に観賞植物を植栽し、鑑賞会を行う。 ③地域内外への周知	①農作物の栽培及び収穫祭を行い、世代間の交流を図る。 ②休耕田に観賞植物を植栽し、鑑賞会を行う。 ③地域内外への周知		①農作物の栽培及び収穫祭を行い、世代間の交流を図る。 ②休耕田に観賞植物を植栽し、鑑賞会を行う。 ③地域内外への周知
事業費	307,340	300,000	300,000	907,340	300,000
市町支出金（ソフト事業分）	300,000	150,000	150,000	600,000	150,000
うち県交付金	150,000	0	0	150,000	
市町支出金（ハード事業分）				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	7,340	150,000	150,000	307,340	150,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課みらい創生係
担当者名	高松、小林
電話	028-677-6012
FAX	028-677-3123
E-mail	miraisousei@town.tochigi-haga.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	芳賀町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	東高橋世代間交流親睦会	
対象年度	令和4	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	300,000	
自治会費	7,340	
計	307,340	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
消耗品費	57,740	55,000	27,500	2,740	イベント用ユニフォーム@ 2,887円×20
備品購入費	249,600	245,000	122,500	4,600	捨て看板@5,060円×10 外付けスロープ@199,000円
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	307,340	300,000	150,000	7,340	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画実績書（単位事業調書）

【単独事業】

市町名	芳賀町
事業名	世代間交流そば打ちサロン事業
事業主体の名称	下高根沢そば打ちサロン
代表者の名称	代表 岡田 全
事業主体の所在	栃木県芳賀郡芳賀町大字下高根沢425-3
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・団体の目的：生きがいを持ち、地域と積極的に交流を深める。</li> <li>・設立年月日：平成27年12月20日</li> <li>・構成員等：19名（農業者、一般企業退職者、役場退職者等）</li> </ul>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>少子高齢化や生活様式の変化を背景として、若い世代の転出増等による人口の減少、町民相互の交流機会の減少、自治会加入者の減少が進んでおり（年少人口比率 H28 13%→R3 12.5%、老年人口比率 H28 29.5%→R3 32.1%、自治会加入率 H28→R3で9.3%減）、地域コミュニティ活動の停滞が危惧されます。</p> <p>下高根沢地区では、コロナの影響で地区内行事の多くが中止となり交流機会が減少していることから、各世代間で交流できる場を提供する必要があります。</p> <p>そば打ちサロンの会員も高齢化進んでおり、団体の存続のためにも、若い世代に交流を通じて、そば打ちに興味をもってもらえるような機会が必要です。</p> <p>下高根沢地区は940世帯あり、町内でも人口規模の大きい地区となっています。東日本大震災の際は、多くの世帯が避難所生活を余儀なくされたことから、公助だけでなく、共助の強化が求められています。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>・世代間交流により地域コミュニティの活性化を図る。</li> <li>・老若男女を問わず参加しやすいコミュニティを形成する。</li> <li>・関係人口の創出につなげる。</li> </ul>
事業概要	<p>①世代間のコミュニティを形成 毎月、「そば打ち教室」を実施し、地元のそば打ち名人を講師に招き、子どもから高齢者、親子でも楽しくそば打ちが体験できる交流の場を創出し、世代間コミュニティ場を形成した。また、上達具合により、道具の更新を行い参加者に継続的に参加してもらえる工夫した。</p> <p>②関係人口の創出（d.参加・交流型） 地域外への出前講座については、新型コロナウイルス感染の影響で見送ったが、「そば打ち教室」に地区外に転出した若い世代を招き、関係人口の創出を図った。また、そば打ちに興味、関心をもってもらいサロン会員を増やし規模拡大を図った。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>地域や町民の自主的な活動が盛んである。（NSI値） R元 55.7 → R5 58.0 芳賀町へ新しいひとの流れをつくる 15～45歳の純移動者数（累計）H30 40人 → R5 160人</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

（単位：円）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①そば打ち教室の実施 ②出前講座の実施 ③炊き出し訓練の実施	①そば打ち教室の実施 ②出前講座の実施 ③炊き出し訓練の実施 ④活動状況に合わせた道具の更新 ⑤地域内外へのPR	①そば打ち教室の実施 ②出前講座の実施 ③炊き出し訓練の実施 ④活動状況に合わせた道具の更新 ⑤地域内外へのPR		①そば打ち教室の実施 ②出前講座の実施 ③炊き出し訓練の実施 ④活動状況に合わせた道具の更新 ⑤地域内外へのPR
事業費	394,079	280,000	230,000	904,079	230,000
市町支出金 （ソフト事業分）	340,000	200,000	150,000	690,000	150,000
うち県交付金	170,000	100,000	75,000	345,000	
市町支出金 （ハード事業分）				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	54,079	80,000	80,000	214,079	80,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課みらい創生係
担当者名	高松、小林
電話	028-677-6012
FAX	028-677-3123
E-mail	miraisousei@town.tochigi-haga.lg.jp

## 栃木県わがまちつながり構築事業実績書（単位事業収支精算書）

市町名	芳賀町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	世代間交流そば打ちサロン事業	
対象年度	令和4	年度

## 1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	340,000	
そば打ちサロン会費	54,079	
計	394,079	

## 2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		市	町		
備品費	216,302	200,000	100,000	16,302	物置@,165,770円 そば打ち台一式 34,000円 麺棒@ 円 こま板 5,000円 他
材料費	177,777	140,000	70,000	37,777	蕎麦粉、つなぎ粉、打ち粉、調味料等
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	394,079	340,000	170,000	54,079	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合